

第3次紀の川市総合計画 基本構想(案) (パブコメ反映)

将来像とまちづくりの目標

1. 市の将来像

本市は、豊かな自然、全国に誇る農産物、そして先人たちが築き上げてきた歴史や文化という唯一無二の「実り」に支えられて発展してきました。この「実り」は、地域の営みの積み重ねであり、次の世代へと受け継ぐべき大切な財産です。

私たちは、人口減少や少子高齢化が進み、これまでの延長線上では立ち行かなくなっている今を、ただ受け入れるものではありません。この「実り」を次の世代へと受け継ぐため、人が主役となり、知恵や技術を持ち寄り、新たな価値をつくり出す挑戦にワクワクしながら取り組みます。そして、地域の絆を感じながら、誰もが心地よく暮らせるまちを、ともに作り上げていきます。

市民の願いが込められたその姿を、本市の将来像として次のとおり掲げます。

「みんなでつなげる わくわくの未来 実りあふれる 住みよいまち」

みんなでつなげる

地域や世代を超えて、これまでの歩みを大切に受け継ぎながら、一人ひとりが主役となり、未来を切り拓き、その歩みをみんなでつなげていきたいという思いを表現しています。

わくわくの未来

誰もが明日に期待を膨らませ、新たな挑戦ができる、活気ある社会を築いていきたいという思いを表現しています。

実りあふれる

豊かな自然や多様な農産物、受け継がれてきた歴史や文化を大切に守り、育てていくことで、人々の心に豊かさが満ち、笑顔があふれるまちにしたいという思いを表現しています。

住みよいまち

「紀の川」が育んできた、お互いに支え合う温かな絆を実感できるまちを目指します。子育てや医療、仕事の環境が充実し、安全で安心して暮らすことができ、ずっと住み続けたい、これから住んでみたいと思えるまちを表現しています。

2. まちづくりの目標(政策目標)

将来像で掲げた思いを具体的なまちづくりへと結びつけるため、次の5つの目標を掲げます。

(1)まちづくりの目標1 ひとづくりと地域づくり

— ひとがきらめき、実りあふれるまちをつくる —

こども・子育て支援や学校教育の充実を図るとともに、生涯学習や地域の多様な活動を通じて世代を超えたつながりを育みます。先人から受け継いだ歴史や文化を大切にしながら、ひとと地域の力を未来へつなぎます。

(2)まちづくりの目標2 仕事とにぎわい

— はたらく場をつくり、挑戦に心躍る地域経済をつくる —

果樹栽培をはじめとする農業の振興と高付加価値化を進めるとともに、商工業や観光との連携を強化します。多様な人材が活躍し、新たな挑戦が生まれることで、地域内に活力と実りが循環する経済基盤を築きます。

(3)まちづくりの目標3 くらしと環境

— みんなの力で、安全で安心して暮らせる持続可能なまちをつくる —

防災・防犯対策の強化、都市基盤の整備、豊かな自然環境の保全を進めます。紀の川の流域環境と調和しながら、安全で快適なくらしを守ります。あわせて、過疎化が進む地域を含め、市内のどこに住んでいても誇りを持って暮らし続けられるよう、適切に土地を活かし、守り、次世代へつなぐ環境を築きます。

(4)まちづくりの目標4 健康と共生

— 誰もが尊重され、人とつながり、支え合いながら健やかに暮らせるまちをつくる —

医療・福祉の充実を図り、ともに健康づくりを進めながら、多様な人々が互いを認め合い、支え合う共生社会の実現を目指します。一人ひとりの「その人らしさ」が尊重される地域を築きます。

(5)まちづくりの目標5 しくみと共創

— 対話と連携により、持続可能で質の高い行政基盤をつくる —

市民や事業者など、多様な主体とともに知恵や技術を持ち寄り、行財政運営の最適化を進めます。対話と参画を大切にしながら行政の運営を絶えず見直し、より質の高いサービスの実現を、ともに考え、ともにつくるまちづくりを推進します。